

プロネクサスベトナム現地レポート

(2022年9月 VOL.38)

プロネクサスベトナムが、2022年8月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
 今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

【FDI 動向の概要（2022年1月1日～8月20日）】*8月の数値は20日時点の値

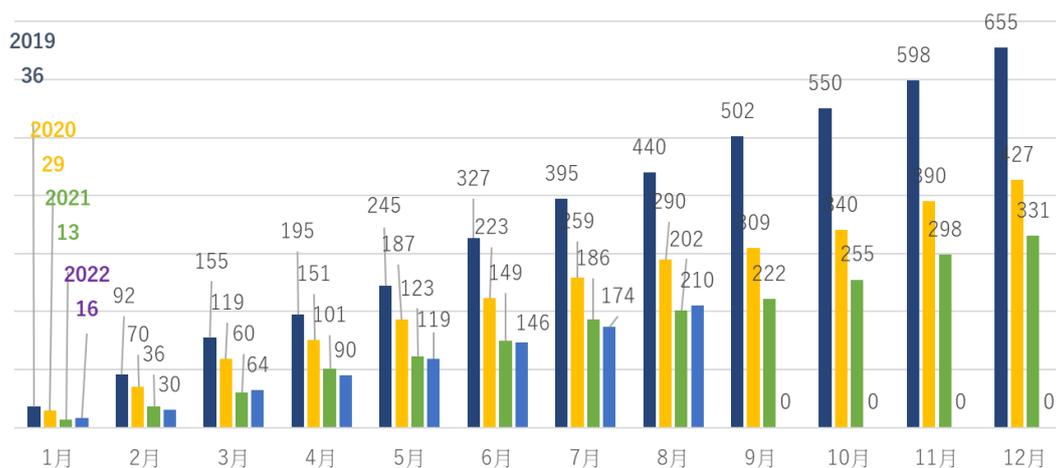
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2022年1月1日から8月20日までのFDI投資額は約**14億9,000万USドル**（*2021年同期間：約32億2,000万USドル、46.4%）
- 日本の2022年1月1日から8月20日までのFDI投資件数は、**353件**（*2021年同期間：353件、100.0%）
- 証券投資件数を除いた日本の2022年1月1日から8月20日までのFDI投資件数は、**210件**（*2021年同期間：202件、104.0%）

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2022年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2022年8月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、94の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約45億
2位	韓国	約35億
3位	日本	約15億
4位	中国	約14億
5位	デンマーク	約13億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	1,344
2位	シンガポール	460
3位	中国	420
4位	日本	353
5位	台湾	216

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2022年1月1日～8月20日）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 都市部のインフラ建設プロジェクトで9億4,100万USドル追加投資（シンガポール）2022/1
- ▶ 電子機器製造の工場プロジェクトで3億600万USドル追加投資（香港）2022/1
- ▶ Samsung Electro-mechanics Vietnam Coのプロジェクトで9億2000万USドル追加投資（韓国）2022/2
- ▶ レゴ・グループによるビンズオン省での新工場の設立プロジェクトで約13億2,000万USドルの新規投資（デンマーク）2022/3

上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較し61.5%程度で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

<8月の投資状況>

2022年8月までの外国からベトナムへのFDI投資をみると、コロナウイルスの影響で金額、件数ともに伸び悩んでいる状況にあります（対前年比 約61.5%程度）。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は1,135件（対前年比100.0%程度）、金額は63.5億USドル（対前年比56.0%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、676件行われ（対前年比105.8%程度）、金額は75億USドル（対前年比150.0%）に達しました。

<ベトナムの経済開放度 アジア第 5 位>

英大手格付会社フィッチ・ソリューションズ(Fitch Solutions)が発表したレポートによると、ベトナムの経済開放度は 100 点満点中 74.6 点となり、アジア平均の 46 点、世界平均の 49.5 点を上回り、**アジア 35 개국・地域中では 5 位に立っています**。同ランキングは、貿易開放度と投資開放度の 2 つの主要指標を評価し、国内総生産(GDP)に対する輸出入額および海外直接投資(FDI)の比率に基づいて点数をつけたものです。

ベトナムは、貿易開放度では 89.2 点と東アジア・東南アジアで 2 位、世界で 5 位となりました。中国以外の国への進出を目指す企業や、中国への製造業の依存度を軽減するために「チャイナプラスワン戦略」を取る企業にとって、ベトナムは進出先として魅力的な国だと評価されています。ベトナムでは比較的安定した政治体制、戦略的な立地、中国に比べてコストが安い豊富な労働力などが投資家を引き寄せています。

また、ベトナムは TPP（環太平洋パートナーシップ）やさまざまな自由貿易協定に加盟しており、貿易と経済の多様化への取り組みを後押ししています。「ベトナムは、政府主導の経済自由化の取り組みと、貿易協定や地域・国際ブロックへの加盟によるグローバルなサプライチェーンへの統合によって、東・東南アジア地域の重要な製造拠点として台頭してきている」と同レポートは述べています。

*引用元:

VIET JO 「ベトナムの経済開放度、アジア 35 개국・地域中 5 位」

<https://www.viet-jo.com/news/economy/220825192907.html>（参照 2022/08/26）

VnExpress 「Vietnam ranks 5th in economic openness in Asia: Fitch」

<https://e.vnexpress.net/news/economy/vietnam-ranks-5th-in-economic-openness-in-asia-fitch-4502987.html>（参照 2022/08/23）

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）9 月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。